

水道工事用書類・様式の記載例集 改定の要旨

ページ	改 定 項 目	主 な 改 定 内 容
第3章 1-21	(土木工事) 水道局が作成する書類 (1) 監督員が作成する書類 (2) 必要に応じて監督員が作成する書類	○ 書類の提出方法に応じて、「押印配布」又は「配布」の適用を整理した。
1-51	完成検査手直指示書	○ 経理部からの要望により、「DX推進に向けた5つのレス徹底方針」に基づくはんこレス対応のため、検査員及び立会員の押印を廃止した。
第4章 1-59	受注者が作成する書類 現場代理人及び主任技術者等通知書	○ 監理技術者における資格者証の提示内容について統一様式に合わせて備考欄の記載箇所を訂正した。
1-99	給水管取付替工事施工図	○ 不要な語句を削除した。
1-123	請求・通知・報告・協議書	○ 統一様式に合わせて監理業務受託者の押印を廃止した。
第5章 1-160	計画書等作成要領 GX形直管・P-Linkチェックシート (呼び径75～250)	○ 日本ダクトイル鉄管協会チェックシートの記載内容に合わせて、P-Linkの受口端面から直部までのa寸法について新たに注意書きを追記するなどの改定を行った。
1-161	GX形異形管・G-Linkチェックシート (呼び径75～250)	○ 日本ダクトイル鉄管協会チェックシートの記載内容に合わせて、ストッパ・ロックリングの確認及びストッパの引き抜きについて修正した。また、抜け出しチェックに関する項目を追加した。
1-162	GX形継ぎ輪チェックシート (呼び径75～250)	○ ストッパの引き抜きや図等について、日本ダクトイル鉄管協会チェックシートの記載内容に合わせて修正した。
1-207 1-221 1-228 1-230 1-231	給水管工事設計図及び完成図等作成要領	○ 令和3年6月15日付3水給給第67号「給水装置工事完成図等の作成方法等の改定について(通知)」に基づき、完成図の提出部数及び紙質等の記載内容を見直した。
第3章 2-21	(建築・設備工事) 水道局が作成する書類 (1) 監督員が作成する書類 (2) 必要に応じて監督員が作成する書類	○ 1-21と同様
2-49	完成検査手直指示書	○ 1-51と同様
第4章 2-59	受注者が作成する書類 現場代理人及び主任技術者等通知書	○ 1-59と同様
2-121	請求・通知・報告・協議書	○ 1-123と同様

※次頁以降が今回改定した原稿及び見え消し版になります。

改定原稿
(見え消し版)

改定ページのみ

水道工事用書類・様式の記載例集
令和3年10月1日一部改定

(1) 監督員が作成する書類（土木工事編） ◎ 決定後原稿とし ○ 決定用を複写配布・とし □ 配布（受書兼用）押印配布（受書兼用）◇ 配布押印配布 ■ 配布（受書兼用）◆ 配布

識ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分
1- 22	監督員通知書	◎	○	○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長
1- 38	完成工事出来高通知書	◎		○	◇◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 43	打合せ議事録	◎	○	○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長

(2) 必要に応じ監督員が作成する書類（土木工事編）

識ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分等 (経理・庶務・機)
1- 23	工事着手日指定書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 24	施工変更決定書	◎		○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 25	施工変更通知書	◎		○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 26	[変更内容]					
1- 27	設計変更工事数量表	◎		○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 28	[変更工事総括数量表]					
1- 30	[変更総括書]					
1- 31	[変更工種別総括書]					
1- 32	[変更内訳書]					
1- 33	工事(部中止・部中止・中止継続)通知書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 35	工事(部・部)中止解除通知書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 36	既済部分工事出来高通知書	◎		○	◇◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 39	指示事項通知書	◎		○	■	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 40	指示書	◎		○	■	※原則として電子メールでのやり取りとする。
1- 41	改善指示書	◎		○	■	
1- 42	改善命令書 ※ 総監督員名で作成	◎		○	■	
1- 44	工事番号変更通知書	◎		○	◇◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 45	承諾書	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 46	回答書(鑑について承諾しない場合)	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 47	認定調書	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長一部(所)長 (経歴)
1- 48	貯蔵品請求票兼引渡票 (請求)					
	貯蔵品請求票兼受領票 (請求)					
	貯蔵品返還票兼受領票 (返還)					
	貯蔵品返還票 (返還)					

(3) 局が作成する書類（土木工事編）

識ページ	書 類 名	主 旨	作 成	備 考
1- 49	工事請負契約変更協議書	契約条項の規定により、契約変更の必要が発生したため協議を求める通知	契約担当所	承諾書
1- 50	工事完成・既済部分検査調書 (第 回)	完成、既済部分検査の合格に伴い発行される。	検査担当所	
1- 51	完成検査手直指示書	完成検査の不合格に伴い、不履行の部分の手直しにより、契約内容を確認する。	検査担当所	
1- 52	東京都水道局企業用固定資産使用許可書	受注者からの水道局固定資産使用許可申請書に基づき、固定資産規定により許可される。	経理担当所	

完成検査手直指示書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

殿

外枠を削除し、下線（破線）を追加

検 査 員		印
検 査 員		印
立 会 員		印

工 事 件 名

工 事 番 号 _____

契 約 金 額 _____

完成年月日

令和 年 月 日検査実施の結果、工事請負契約書第 30 条に基づき下記のとおり
手直しを指示します。

手直し期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで (日間)

手直し内容

上記について了承しました。

令和 年 月 日

会 社 名		
受注者立会人		印

(注) 契約金額は、契約金額内訳明細書を提出した場合に記入すること。

統一 2

文 書 番 号 (工事番号)	第 1 4 0 0 1 0 0 号		
-------------------	-------------------	--	--

現場代理人及び主任技術者等通知書

(発注者宛)
東京都水道局長
〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 (印)
〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕
連絡用メールアドレス

令和 元年 5 月 9 日

現場代理人及び主任技術者等下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	3 1 水経契契第 1 0 号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 14 , 3 3 2 , 8 8 8 . -)		
契 約 年 月 日	令和 元年 5 月 8 日	工 期	着手指定の日から 1 0 0 日間
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名 (連絡用メールアドレス)	ふりがな どぼく いちろう 土木 一郎		現場代理人と主任技術者、 監理技術者又は監理技術者 補佐は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな どぼく じろう 土木 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな どぼく さぶろう 土木 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	※資格者証（監理技術者講 習修了履歴）を監督員に提 示すること。
監理技術者補佐氏名	ふりがな どぼく しろう 土木 四郎	・建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ ・一級第一次検定合格者	※資格者証（監理技術者講 習修了履歴）を監督員に提 示すること。
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を置 いて施工する工事の建設業 法上の区分を記入する。
電気保安技術者 氏 名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入す る。
増員の技術者	ふりがな どぼく しろう 土木 四郎		契約約款第 5 4 条関連
受注者（J V の場 合幹事会社）の許 可区分等	土木一式 ・ 建築一式 ・ 電気 ・ 管 ・ 鋼構造物 ・ 舗装 ・ 機械器具設置 ・ 造園 水道施設 ・ その他 (大臣 ・ 知事 特定 ・ 一般 6 2 第 1 2 3 4 号		

監理業務受託者		担当者名	
---------	--	------	--

注 受注者（J V の場合幹事会社）の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。
(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

給水管取付替工事 施工図			1 2 3 4 5 6		
お客さま番号		12-34567-89	水道使用者名		水道 次郎
施工月日		7月 9日 昼・夜	工事場所		新宿区 西新宿2-8-2

給水管取付替工事 施工図			1 2 3 4 5 6		
お客さま番号		12-34567-90	水道使用者名		水道 次郎
施工月日		7月 9日 昼・夜	工事場所		新宿区 西新宿2-8-2

(配管図)

(位置図・掘削図)

(配管図)

文 書 番 号 (工事番号)	第1400100号
-------------------	-----------

〔請求・通知 報告・協議〕書

(発注者宛)

令和 元年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水道 太郎 印

〔法人の場合は名称
及び代表者の氏名〕

下記工事について工事請負契約書の第20条 1項により 〔請求・通知
報告・協議〕 します。

文 書 番 号 (契約番号)	31水経契契第10号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間		
契 約 金 額	¥193,494,000.- (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥14,332,888.-)		
契 約 年 月 日	令和 元年 5月 8日	工 期	令和 元年10月18日

〔請求・通知
報告・協議〕 内容

【記載例】

〇〇〇〇により、工期限内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の
延長を請求します。

※ 契約書第20条1項による請求は、天災等の自己の責めに帰すことができない事由に限る。

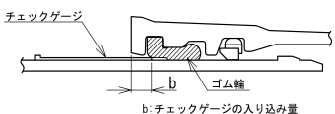
監理業務受託者		担当者名	印
---------	--	------	---

(注) 契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いる。

G X形 直管・P-Link チェックシート (呼び径75～250)

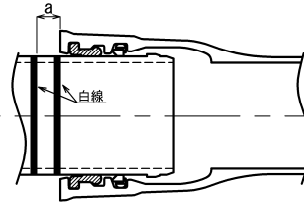
工 事 件 名											
呼 び 径						図 面 No.					

1 直管



チェックゲージ
b: チェックゲージの入り込み量

2




矢視
白線

b寸法の合格範囲

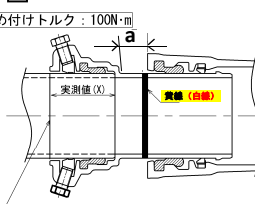
呼び径	合格範囲 (mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21

3 P-Link



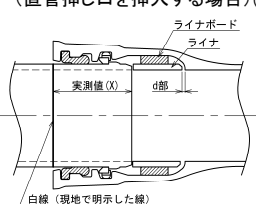
チェックゲージ
締め付けトルク: 100N・m
b: チェックゲージの入り込み量

4



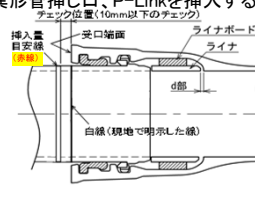
締め付けトルク: 100N・m
a: チェックゲージの入り込み量
白線 (現地で明示した線)

5



ライナボード
ライナ
d部
白線 (現地で明示した線)

6



ライナボード
ライナ
d部
白線 (現地で明示した線)

継 手 番 号											
略図/ラケ											
挿し口突部の有無											
清 掃											
滑 剤											
挿し口の挿入量の明示											
受口溝 (ロックソグ) の確認											
爪、押しボルトの確認 (P-Link)											
挿入量目安線 (赤線) と受口端面間距離の確認 (異形管挿し口) ※1											
マーキング (白線) の明示 (異形管挿し口) ※2											
受口端面～ゴム輪 間隔 (b) ※3 (チェックゲージで 全周を確認する)	全周チェック									1 3	
	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
	⑦										
受口端面～白線 (黄線) 間隔 (a) 注)	①									2 4	
	③										
	⑤										
	⑦										
押しボルト	本数									4	
	トルク確認										
ライナの位置確認 (d 部) ※4										5 6	
マーキング (白線) 位置の確認 ※5										4 5	
判 定											
備 考											

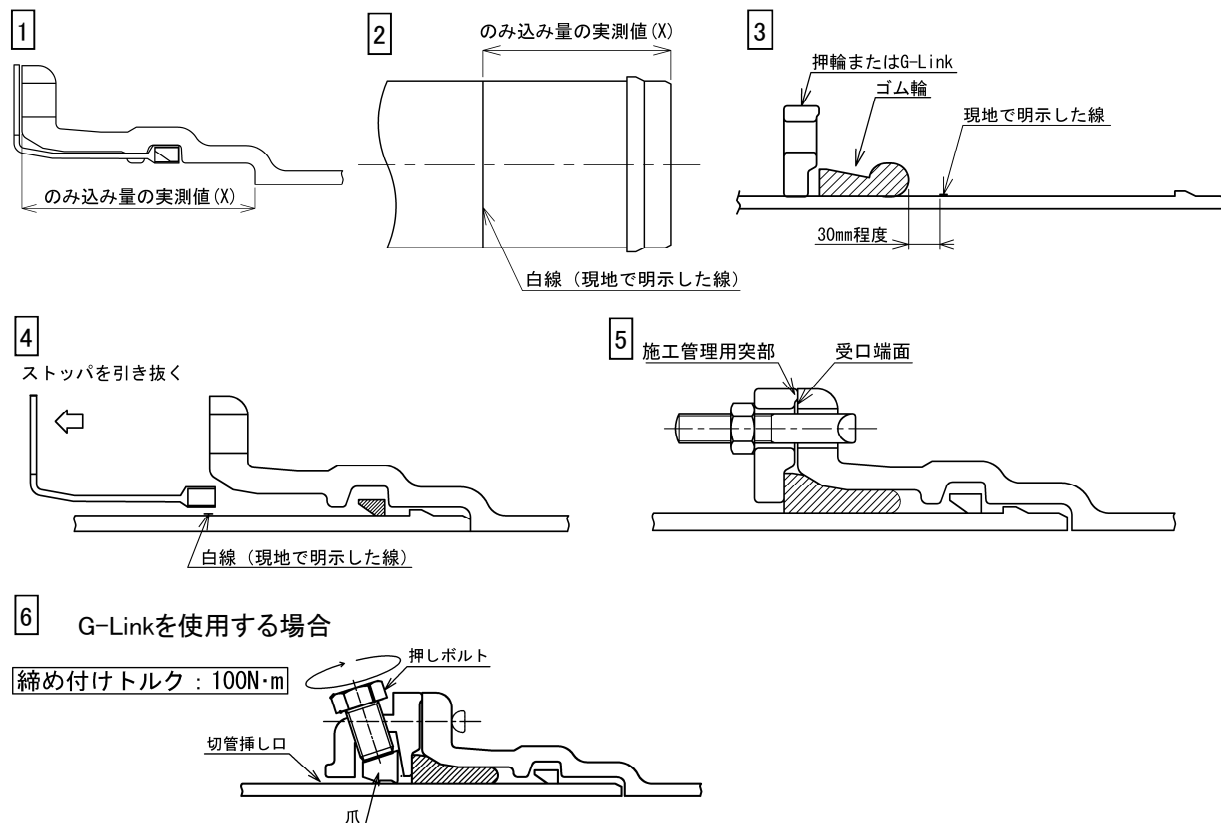
施 工 日		受注者名	現場代理人	
令和 年 月 日	日			
配 管 工				

判定基準

- ※1 挿入目安線 (赤線) と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
 ※2 挿し口外周～受口端面位置の白線を表示したか確認する。
 ※3 受口端面～ゴム輪間隔 (b) が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 ※4 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
 ※5 接合直後にマーキング (白線) 位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
 注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ4a寸法を記入する。

G X形 異形管・G-Link チェックシート（呼び径75～250）

工 事 件 名	
呼 び 径	図 面 No.



継 手 番 号								—
略 図								
挿し口突部の有無 ^{注)}								—
清 掃								—
滑 剤								—
挿し口の挿入量の明示								1 2
爪、押しボルトの確認 (G-Link)								—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								3
ストップ、ロックリングの確認								4
ストップの引き抜き								4
抜け出しチェック（挿し口突部有り）※2								—
T 頭ボルト	本数							5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数							5
	隙間ゲージ 確認							
押しボルト	本数							6
	トルク確認							
判 定								—
備 考								
施 工 日	受 注 者 名					現 場 代 理 人		
令 和 年 月 日						配 管 工		

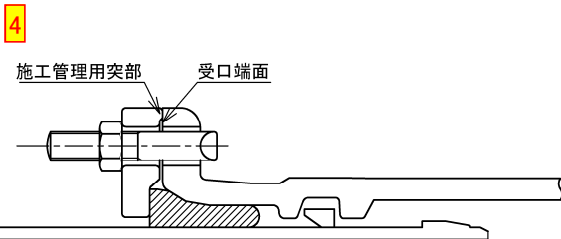
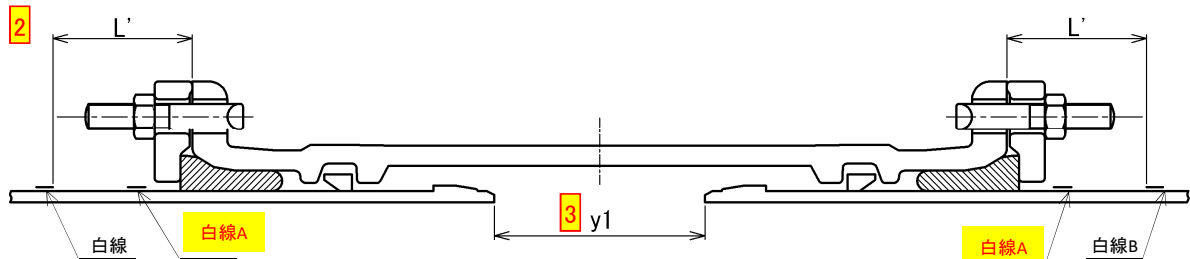
判定基準 ※1 受口端面と押輪又はG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。

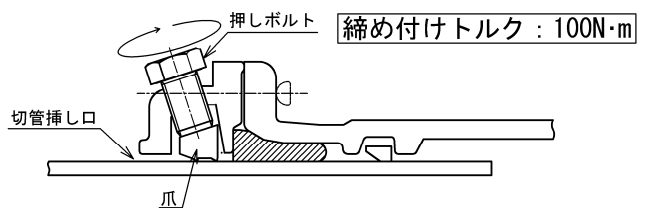
注) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

G X形 継ぎ輪 チェックシート (呼び径75～250)

工 事 件 名			
呼 び 径		図 面 No.	

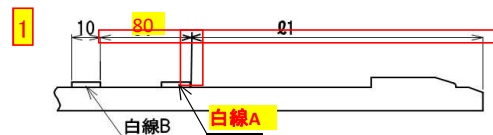
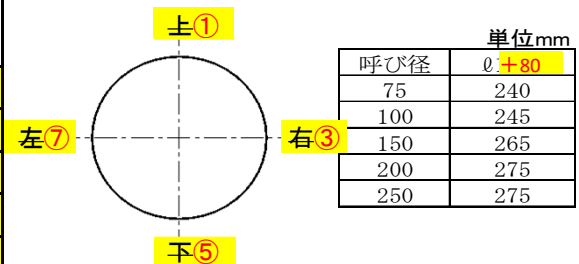


5 G-Linkを使用する場合



注: 特殊押輪を使用するのは、挿し口突部がある場合のみ。

継手番号			
略 図			
挿し口突部の有無 ^{注1)}			—
清 掃・異物の除去			—
滑 剤			—
切管挿し口の 白線 A, Bの明示			1
ゴム輪、押輪、特殊押輪またはG-Linkの確認			—
爪、押ボルトの確認(G-Link)			—
ロックリング、ストッパの確認			—
ストッパの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	上①		2
	右③		
	下⑤		
	左⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	上①		3
	右③		
	下⑤		
	左⑦		
T頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数		4
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			



(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	Y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250

備 考			
-----	--	--	--

施 工 日	受 注 者 名	現 場 代 理 人
令和 年 月 日		配 管 工

判定基準 ※ 受口端面と押輪、特殊押輪又はG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

給水管工事設計図及び完成図等作成要領

1 総合図方式による設計図及び完成図作成方法

次の工事等により総合図方式で設計図及び完成図を作成する場合は、「第12 給水管取付替設計要領」に準じるほか、下記によること。

- ・ 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事等
- ・ 舗装打替等に伴う給水管取付替工事等

なお、製図一般、記号、線の一般的用法その他ここに定めのないものは、JIS Z 8310～18、土木学会「土木製図基準」及びその他関係規格規定によるものとする。

(1) 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

(ア) 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1とする。

(イ) 舗装打替工事等に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1、A2又はA3のいずれかとする。

大きさの呼び方	A1	A2	A3
縦×横 (mm)	594×841	420×594	297×420

イ 紙 質

(ア) 原紙

つや消しトレーシングペーパーを用いる。

(イ) 複写図

a 設計図

PPC式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

b 完成図

保管用は、再生紙と同等以上（白色度70%以上、紙厚0.08～0.1mm程度）製図用和紙、~~ジェライト和紙又はケミカル和紙~~とし、**はり合わせ及び縮小はできないものとする。**

水道管管理図修正用はPPC式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

(2) 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：1部

複写図：2部

イ 完成図 原 図：1部

複写図（保管用）：2部 （水道管管理図修正用）：1部

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

(3) 表示方法

ア 地形、寸法、表示等は、原則として鉛筆書きとする。

なお、線及び文字を鉛筆書きする場合はJIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペン）に用いる芯）HB、F又はHを使用すること。

4 単独給水管工事等の設計図及び完成図作成方法

総合図方式以外で設計図及び完成図を作成する場合は、「指定給水装置工事事業者工事施行要領（給水装置設計・施工基準）」に準じるほか、作成例を参考とし、下記によること。

（１） 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

（ア）設計図は、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とし、工事調書（給水装置様式9）の流用も可とする。

紙質は、普通紙、製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とする。

（イ）完成図は、給水装置工事施工票（給水装置様式1：給水装置工事施工承認申込書の裏面）を使用するほか、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とする。

紙質は、~~原図については~~給水装置工事施工票を除き、**再生紙と同等以上（白色度70%以上、紙厚0.08～0.1mm程度）とし、はり合わせ及び縮小はできないものとする。製図用和紙又はジライト和紙とする。**

~~保管用については製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とし、~~水道管管理図修正用については、PPC式複写（白焼き）とする。

（２） 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：１部

イ 完成図 原 図：１部

複写図（保管用）：１部 （水道管管理図修正用）：１部

ただし、局が設計図（工事調書）を作成する場合は、完成図の複写図（保管用）は提出不要とする。

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

（３） 表示方法

給水装置工事施工票を完成図として使用する場合は、鉛筆書きとし、JIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペンに用いる芯）HB、F又はHを使用すること。

なお、線及び文字は、かすれ等に注意し、明確に書くこと。

（４） 図示範囲等

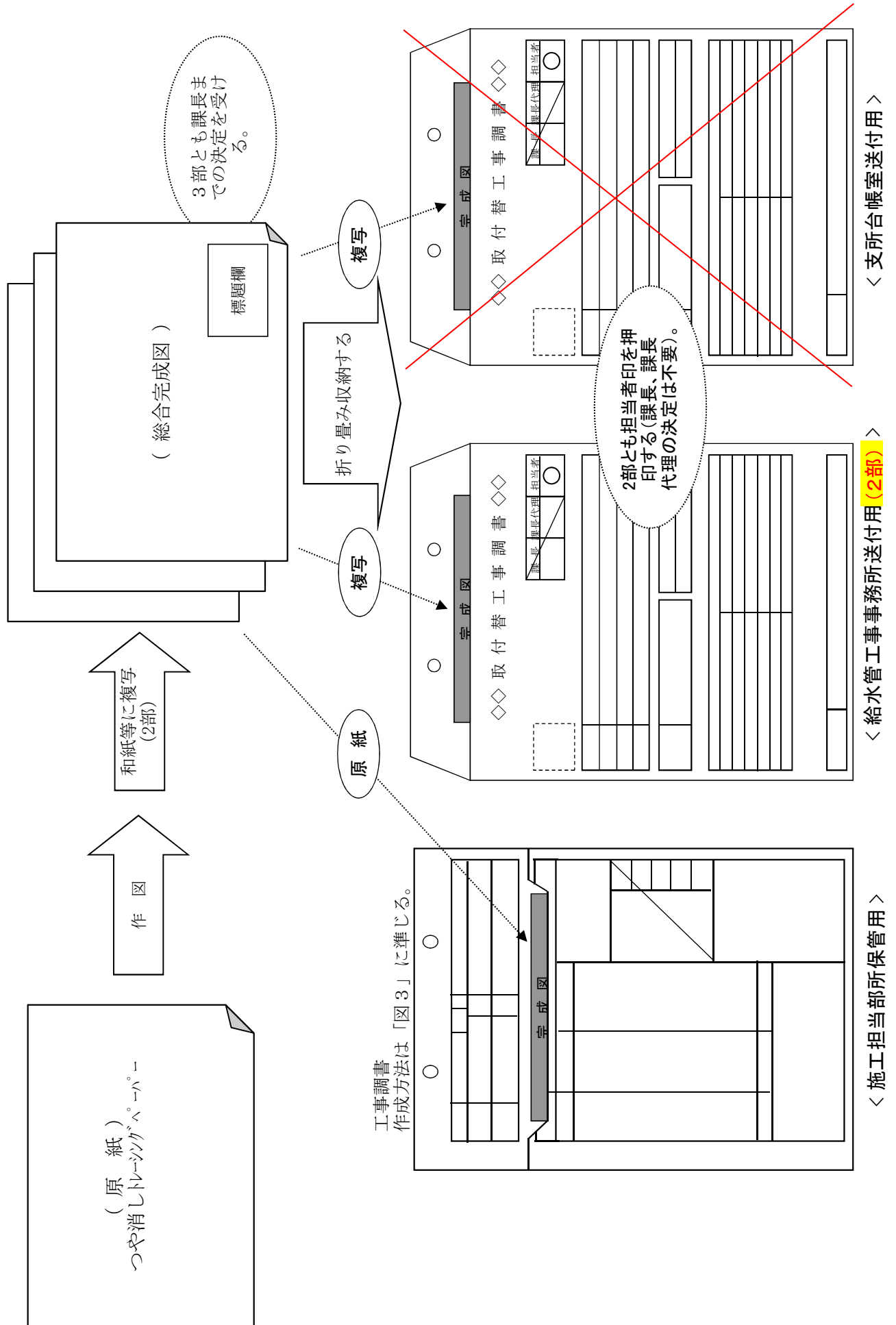
ア 局（受注者）が施行する箇所は実線とすること。

イ 既設管との接続まで施行した場合は、既設管を破線表示とし、ひっかけ線又は引出線により、口径・管種と、必要に応じて「指定事業者施行」の語句を記入すること。

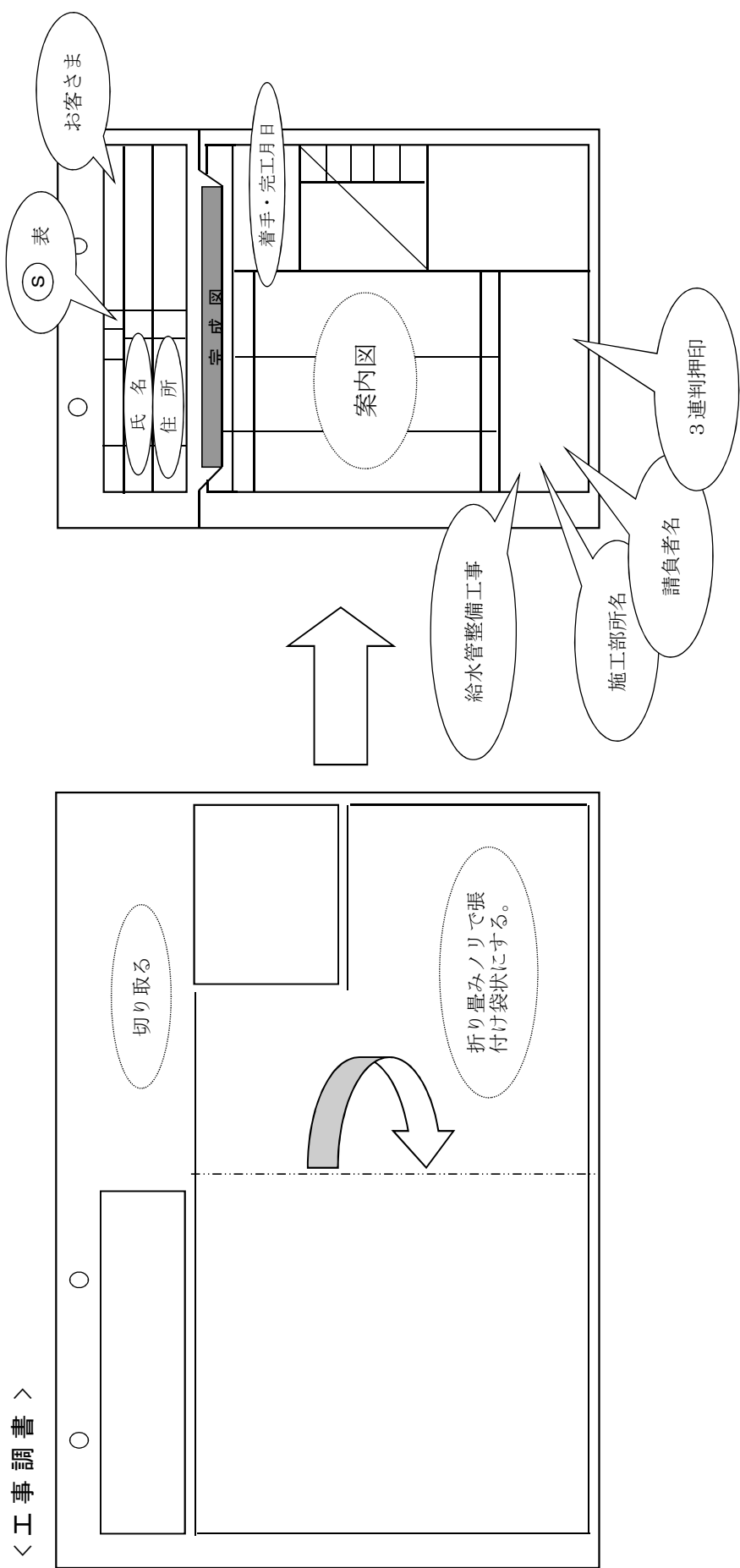
ウ 設計図には道路掘削図（平面図及び断面図）及び道路復旧予定図（復旧構造図等）を記入すること。

なお、完成図については、不要とする。

工事調書作成例1：取付替工事調書（2本以上の場合）

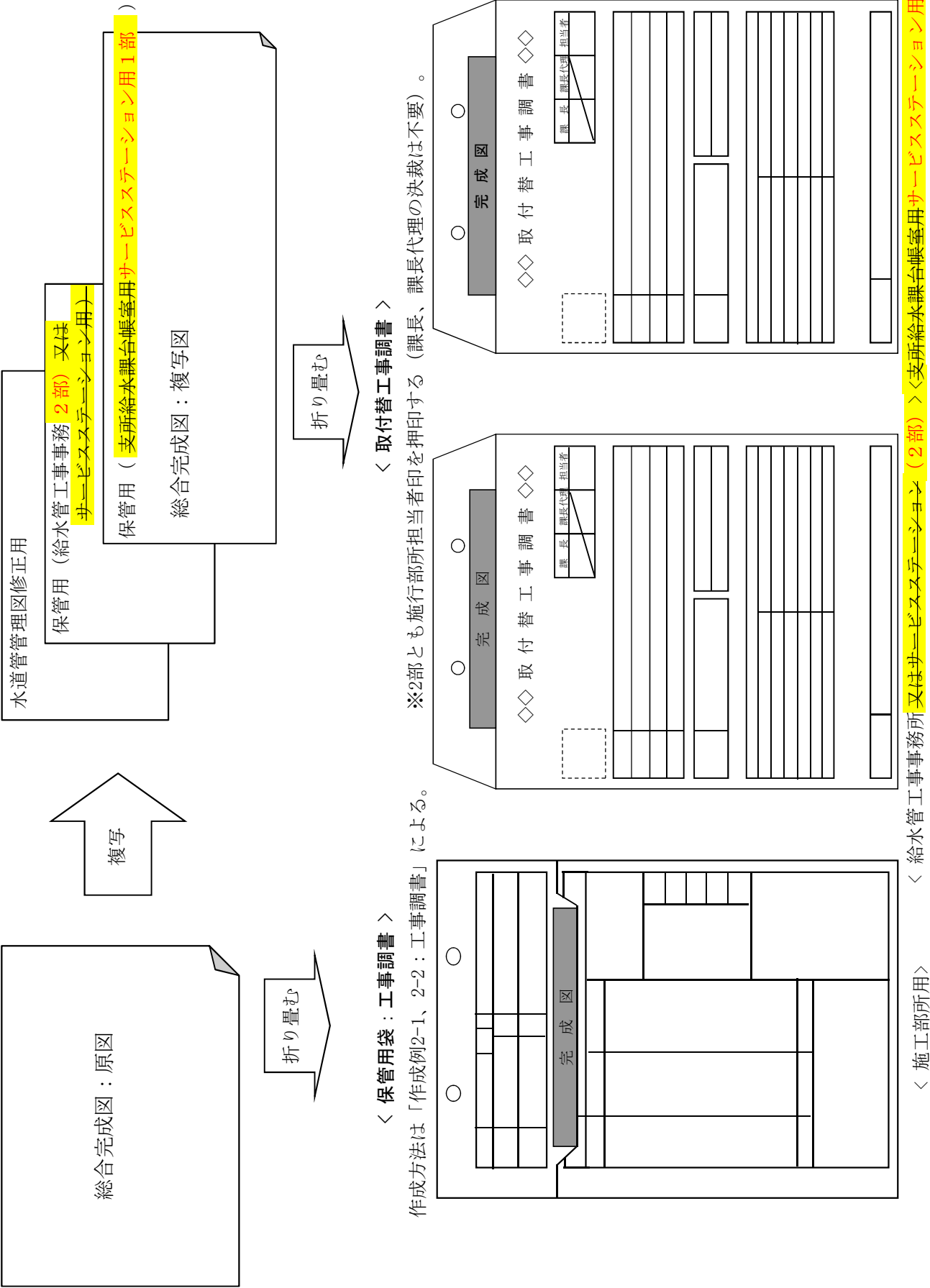


工事調書作成例 2：単独栓で作成する場合



支所台帳室・ 施工担当部所用 ・ 給水管工事事務所用

作成例 1-1：取付替工事調書及び保管用袋の作成（総合完成図方式の場合）



(1) 監督員が作成する書類(建築・設備工事編) ◎決定後原簿 ○決定用を複写配布・とし □配布(受書兼用) 押印配布(受書兼用) ◇ 配布(押印配布) ■ 配布(受書兼用) ◆ 配布

記載ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分
2-22	監督員通知書	◎	○	○	◇	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長
2-24	工種別構成率表通知書	◎	○	○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-25	[工種別構成率表]					
2-36	完成工事出来高通知書	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)

(2) 必要に応じ監督員が作成する書類(建築・設備工事編)

記載ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分等
2-23	工事着手日指定書	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-26	施工変更決定書(第 回)	◎		○		担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-27	施工変更通知書(第 回)	◎		○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-28	[変更内容]					
2-29	変更工種別構成率表通知書	◎	○	○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-30	[変更工種別構成率表(第 回)]					
2-31	工事(全部中止・一部中止・中止継続)通知書(第 回)	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-33	工事(全部・一部)中止解除通知書(第 回)	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-34	既済部分工事出来高通知書(第 回)	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-37	指示事項通知書	◎		○	■	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-38	指示書	◎		○	■	※原則として電子メールでのやり取りとする。
2-39	改善指示書	◎		○	■	
2-40	改善命令書 *総括監督員名で作成	◎		○	■	
2-41	打合せ議事録	◎	○	○		担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-42	部分使用協議書	◎		○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-43	工事番号変更通知書(第 回)	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-44	承諾書	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-45	回答書 *協議について承諾しない場合	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-46	認定調査	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
1-48	貯蔵品請求票兼引渡票(請求)					*書類は、第1編 土木工事編参照
	貯蔵品請求票兼受領票(請求)					
	貯蔵品返還票兼受領票(返還)					
	貯蔵品返還票(返還)					

(3) 局が作成する書類(建築・設備工事編)

記載ページ	書 類 名	主 旨	作成	備考
2-47	工事請負契約変更協議書	工事請負契約書の規定により、契約変更の必要が発生したための協議を求める通知。	契約担当部所	承諾書
2-48	工事完成・既済部分検査調書(第 回)	完成、既済部分検査の合格に伴い発行される。	検査担当部所	
2-49	完成検査手直指示書	完成検査の不合格に伴い、契約不適合又は不完全な部分の手直しにより、契約内容を確保する。	検査担当部所	
2-50	東京都水道局企業用固定資産使用許可書	受注者からの水道局固定資産使用許可申請書に基づき、固定資産規程により許可される。	経理担当部所	

完成検査手直指示書

令和 年 月 日

殿

外枠を削除し、下線（破線）を追加

検 査 員		㊟
検 査 員		㊟
立 会 員		㊟

工 事 件 名

工 事 番 号

契 約 金 額 (注)

完 成 年 月 日

手 直 し 期 間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで (日間)

手 直 し 内 容

上記について了承しました。

令和 年 月 日

会 社 名	
受注者立会人	㊟

(注) 契約金額は、契約金額内訳明細書を提出した場合に記入すること。

統一 2

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

現場代理人及び主任技術者等通知書

(発注者宛)

令和 元年 5 月 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号

水道設備株式会社

氏名 代表取締役 水 道 太 郎

〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕

連絡用メールアドレス

現場代理人及び主任技術者等下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	3 1 水経契契第 1 1 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 14 , 3 3 2 , 8 8 8 . -)		
契 約 年 月 日	令和 元年 5 月 8 日	工 期	令和 元年 1 0 月 1 6 日
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名 (連絡用メールアドレス)	ふりがな せつび いちろう 設備 一郎		現場代理人と主任技術者、 監理技術者又は監理技術者 補佐は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな せつび じろう 設備 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな せつび さぶろう 設備 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	※資格者証（監理技術者講 習修了履歴）を監督員に提 示すること。
監理技術者補佐氏名	ふりがな せつび たろう 設備 太郎	・建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ ・一級第一次検定合格者	※資格者証（監理技術者講 習修了履歴）を監督員に提 示すること。
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を 置いて施工する工事の建設 業法上の区分を記入する。
電気保安技術者氏名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入す る。
増員の技術者	ふりがな せつび しろう 設備 四郎		契約約款第 5 4 条関連
受注者（ＪＶの場合 幹事会社）の許可 区分等	土木一式・建築一式・電気・管・鋼構造物・舗装・機械器具設置・造園 ・水道施設・その他（ 大臣・知事 特定 一般 6 2 第 1 2 3 4 号		
監理業務受託者		担当者名	

注 受注者（ＪＶの場合幹事会社）の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。

(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

文書番号
(工事番号)

第1115500号

請求・通知
報告・協議

書

(発注者宛)

令和 元年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水道 太郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

印

下記工事について工事請負契約書の第20条1項により

請求・通知
報告・協議

します。

文書番号
(契約番号)

31水経契契第11号

工事件名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工事場所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契約金額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥14,332,888.-)

契約年月日

令和 元年 5月 8日

工

期

令和 元年10月16日

請求・通知
報告・協議

内容

〇〇〇〇により、工期内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の延長を
請求します。

※ 契約書第20条1項による請求は、天災等の自己の責めに帰すことができない事由に限る。

監理業務受託者

担当者名

印

(注) この様式は、契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いること。

改定原稿

改定ページのみ

水道工事用書類・様式の記載例集

令和３年１０月１日一部改定

(1) 監督員が作成する書類（土木工事編）◎ 決定後議決し ○ 決定用を複写配布・し □ 押印配布（受書兼用）◇ 押印配布 ■ 配布（受書兼用）◆ 配布

識ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分
1- 22	監督員通知書	◎	○	○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長
1- 38	完成工事出来高通知書	◎		○	◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 43	打合せ議事録	◎	○	○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長

(2) 必要に応じ監督員が作成する書類（土木工事編）

識ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分等 (経理・庶務・機)
1- 23	工事着手日指定書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 24	施工変更決定書	◎		○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 25	施工変更通知書	◎		○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 26	[変更内容]					
1- 27	設計変更工事数量表	◎		○		担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 28	[変更工事総括数量表]					
1- 30	[変更総括書]					
1- 31	[変更工種別総括書]					
1- 32	[変更内訳書]					
1- 33	工事(全部・一部・中止・中止継続)通知書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 35	工事(全部・一部)中止解除通知書	◎	○	○	□	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 36	既済部分工事出来高通知書	◎		○	◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 39	指示事項通知書	◎		○	■	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 40	指示書	◎		○	■	※原則として電子メールでのやり取りとする。
1- 41	改善指示書	◎		○	■	
1- 42	改善命令書 ※ 総務監督員が作成	◎		○	■	
1- 44	工事番号変更通知書	◎		○	◆	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長
1- 45	承諾書	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 46	回答書(備忘について確認する場合)	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 47	認定調書	◎		○	◇	担当者-課代(工事)-課代(工務)-課長-部(所)長 (経歴)
1- 48	貯蔵品請求票兼引渡票 (請求)					
	貯蔵品請求票兼受領票 (請求)					
	貯蔵品返還票兼受領票 (返還)					
	貯蔵品返還票 (返還)					

(3) 局が作成する書類（土木工事編）

識ページ	書 類 名	主 旨	作 成	備 考
1- 49	工事請負契約変更協議書	契約条項の規定により、契約変更の必要が生じたための協議を求める通知	契約担当所	承諾書
1- 50	工事完成・既済部分検査調書 (第 回)	完成、既済部分検査の合格に伴い発行される。	検査担当所	
1- 51	完成検査手直指示書	完成検査の不合格に伴い、不履行の部分の手直しにより、契約内容を確認する。	検査担当所	
1- 52	東京都水道局企業用固定資産使用許可書	受注者からの水道局固定資産使用許可申請書に基づき、固定資産規定により許可される。	経理担当所	

完成検査手直指示書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

殿

検 査 員 _____

検 査 員

立 会 員 _____

工 事 件 名

工 事 番 号

契 約 金 額

完成年月日

令和 年 月 日検査実施の結果、工事請負契約書第 30 条に基づき下記のとおり
手直しを指示します。

手直し期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで (日間)

手直し内容

=====

.....

上記について了承しました。

令和 年 月 日

会 社 名

受注者立会人 _____

(注) 契約金額は、契約金額内訳明細書を提出した場合に記入すること。

統一 2

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 4 0 0 1 0 0 号

現場代理人及び主任技術者等通知書

(発注者宛)

令和 元年 5 月 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

受注者

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道建設株式会社氏名 代表取締役 水 道 太 郎 (印)
〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕

連絡用メールアドレス

現場代理人及び主任技術者等を下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	3 1 水経契契第 1 0 号		
工 事 件 名	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間 配水小管布設替工事		
工 事 場 所	千代田区神田神保町三丁目 2 5 番地先から同区九段南一丁目 2 番地先間		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ 14,332,888.-)		
契 約 年 月 日	令和 元年 5 月 8 日	工 期	着手指定の日から 1 0 0 日間
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名 (連絡用メールアドレス)	ふりがな どぼく いちろう 土木 一郎		現場代理人と主任技術者、 監理技術者又は監理技術者 補佐は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな どぼく じろう 土木 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな どぼく さぶろう 土木 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	※資格者証(監理技術者講 習修了履歴)を監督員に提 示すること。
監理技術者補佐氏名	ふりがな どぼく しろう 土木 四郎	・建設業法第 15 条 第 2 号のイ・ロ・ハ ・一級第一次検定合格者	
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を置 いて施工する工事の建設業 法上の区分を記入する。
電気保安技術者 氏 名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入す る。
増員の技術者	ふりがな どぼく しろう 土木 四郎		契約約款第 54 条関連
受注者(J V の場 合幹事会社)の許 可区分等	土木一式 ・ 建築一式 ・ 電気 ・ 管 ・ 鋼構造物 ・ 舗装 ・ 機械器具設置 ・ 造園 水道施設 ・ その他 (大臣 ・ 知事 特定 ・ 一般 6 2 第 1 2 3 4 号		

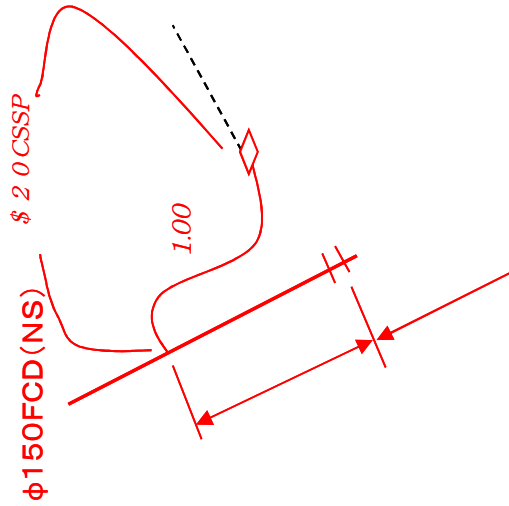
監理業務受託者

担当者名

注 受注者(J V の場合幹事会社)の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。
(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

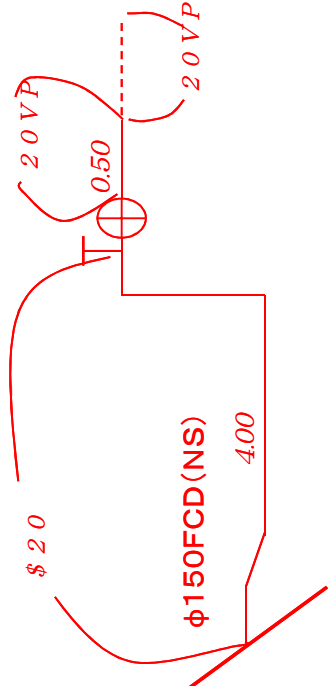
給水管取付替工事 施工図		1	2	3	4	5	6
お客さま番号	12-34567-89	水道 太郎					
施工月日	7月 9日	新宿区 西新宿2-8-1					
	昼・夜						

(配管図)

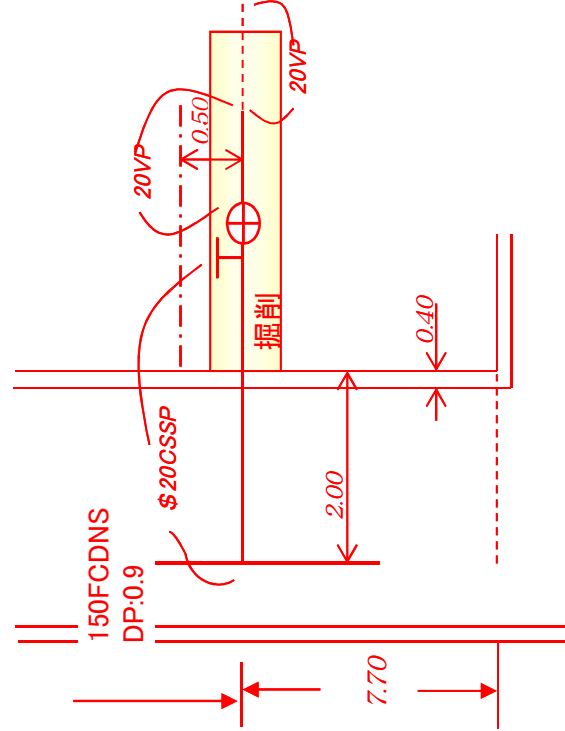


給水管取付替工事 施工図		1	2	3	4	5	6
お客さま番号	12-34567-90	水道 次郎					
施工月日	7月 9日	新宿区 西新宿2-8-2					
	昼・夜						

(配管図)



(位置図・掘削図)



文 書 番 号
(工事番号)

第1400100号

請求・通知
報告・協議

書

(発注者宛)

令和 元年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道建設株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水道太郎 印

法人の場合は名称
及び代表者の氏名

下記工事について工事請負契約書の第20条 1項により 請求・通知
報告・協議 します。

文 書 番 号
(契約番号)

31水経契契第10号

工 事 件 名

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間
配水小管布設替工事

工 事 場 所

千代田区神田神保町三丁目25番地先から同区九段南一丁目2番地先間

契 約 金 額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥14,332,888.-)

契 約 年 月 日

令和 元年 5月 8日

工

期

令和 元年10月18日

請求・通知
報告・協議

内容

【記載例】

〇〇〇〇により、工期内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の
延長を請求します。

※ 契約書第20条1項による請求は、天災等の自己の責めに帰すことができない事由に限る。

監理業務受託者

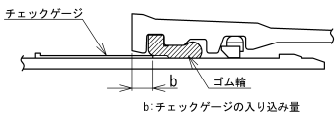
担当者名

(注) 契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いる。

G X形 直管・P-Link チェックシート (呼び径75～250)

工 事 件 名											
呼 び 径						図 面 No.					

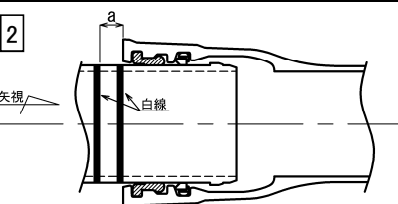
1 直管



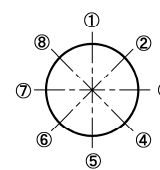
b: チェックゲージの入り込み量

呼び径	合格範囲 (mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21


2



矢視



3 P-Link

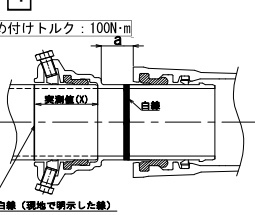


締め付けトルク: 100N・m

b: チェックゲージの入り込み量

呼び径	合格範囲 (mm)
75	54～63
100	57～66
150	57～66
200	63～72
250	63～72

4

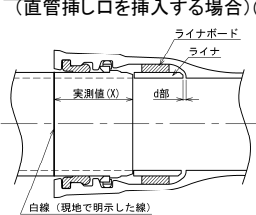


締め付けトルク: 100N・m

実測値 (X)

白線 (現地で明示した線)

5



ライナボード

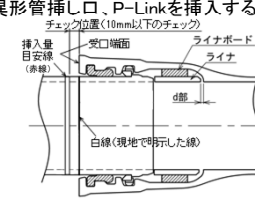
ライナ

実測値 (X)

d部

白線 (現地で明示した線)

6



ライナボード

ライナ

実測値 (X)

d部

白線 (現地で明示した線)

継 手 番 号											
略図/ライケ											
挿し口突部の有無											—
清 掃											—
滑 剤											—
挿し口の挿入量の明示											4 5
受口溝 (ロックンゲ) の確認											—
爪、押しボルトの確認 (P-Link)											—
挿入量目安線 (赤線) と受口端面間距離の確認 (異形管挿し口) ※1											6
マーキング (白線) の明示 (異形管挿し口) ※2											6
受口端面～ゴム輪間隔 (b) ※3 (チェックゲージで全周を確認する)	全周チェック										1 3
	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
	⑦										
受口端面～白線間隔 (a) 注)	①										2 4
	③										
	⑤										
	⑦										
押しボルト	本数										4
	トルク確認										
ライナの位置確認 (d部) ※4											5 6
マーキング (白線) 位置の確認 ※5											4 5
判 定											—
備 考											

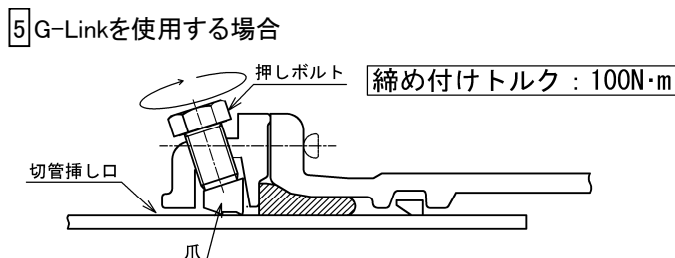
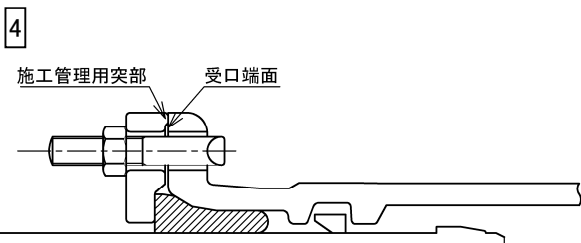
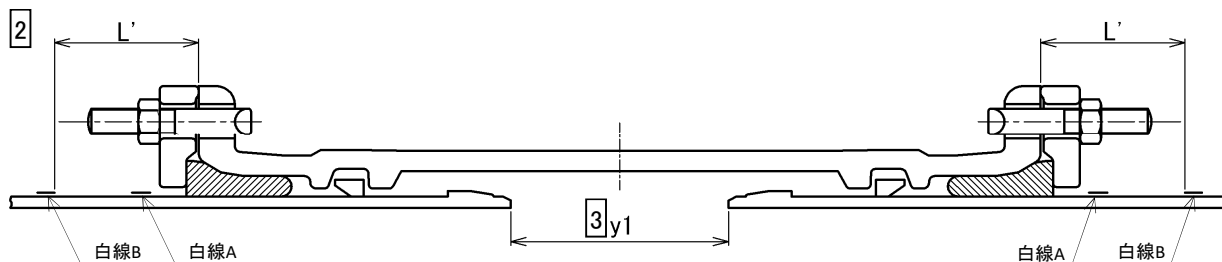
施 工 日	受 注 者 名	現場代理人
令和 年 月 日		配 管 工

判定基準

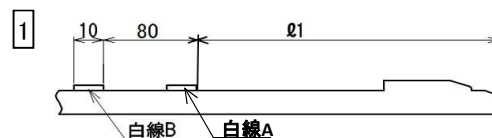
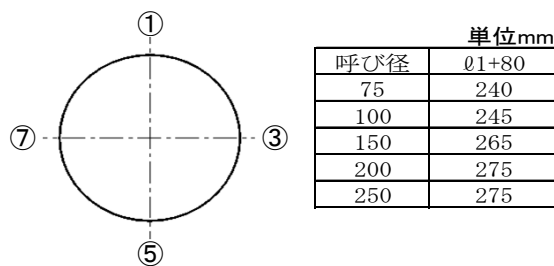
- ※1 挿入目安線 (赤線) と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
- ※2 挿し口外周～受口端面位置の白線を表示したか確認する。
- ※3 受口端面～ゴム輪間隔 (b) が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
- ※4 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
- ※5 接合直後にマーキング (白線) 位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
- 注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ4a寸法を記入する。

G X形 継ぎ輪 チェックシート (呼び径75~250)

工 事 件 名			
呼 び 径		図 面 No.	



継手番号			
略 図			
挿し口突部の有無 ^{注1)}			—
清 掃 ・ 異物の除去			—
滑 剤			—
白線A,Bの明示			1
ゴム輪、押輪、特殊押輪またはG-Linkの確認			—
爪、押しボルトの確認(G-Link)			—
ロックリング、ストップの確認			—
ストップの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数		4
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			



(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm	
呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120

(ii) せめ配管の場合

単位mm	
呼び径	Y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250

備 考			
施 工 日	受 注 者 名	現場代理人	
令和 年 月 日		配 管 工	

判定基準 ※ 受口端面と押輪、特殊押輪又はG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

給水管工事設計図及び完成図等作成要領

1 総合図方式による設計図及び完成図作成方法

次の工事等により総合図方式で設計図及び完成図を作成する場合は、「第12 給水管取付替設計要領」に準じるほか、下記によること。

- ・ 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事等
- ・ 舗装打替等に伴う給水管取付替工事等

なお、製図一般、記号、線の一般的用法その他ここに定めのないものは、JIS Z 8310～18、土木学会「土木製図基準」及びその他関係規格規定によるものとする。

(1) 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

(ア) 配水小管新設又は布設替工事に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1とする。

(イ) 舗装打替工事等に伴う給水管取付替工事の図面

図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA1、A2又はA3のいずれかとする。

大きさの呼び方	A1	A2	A3
縦×横 (mm)	594×841	420×594	297×420

イ 紙 質

(ア) 原紙

つや消しトレーシングペーパーを用いる。

(イ) 複写図

a 設計図

PPC式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

b 完成図

保管用は、再生紙と同等以上（白色度70%以上、紙厚0.08～0.1mm程度）とし、はり合わせ及び縮小はできないものとする。

水道管管理図修正用はPPC 式複写（白焼き）又はジアゾ式複写（青焼き）とする。

(2) 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：1部

複写図：2部

イ 完成図 原 図：1部

複写図（保管用）：2部 （水道管管理図修正用）：1部

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

(3) 表示方法

ア 地形、寸法、表示等は、原則として鉛筆書きとする。

なお、線及び文字を鉛筆書きする場合はJIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペンに用いる芯）HB、F又はHを使用すること。

4 単独給水管工事等の設計図及び完成図作成方法

総合図方式以外で設計図及び完成図を作成する場合は、「指定給水装置工事事業者工事施行要領（給水装置設計・施工基準）」に準じるほか、作成例を参考とし、下記によること。

（１） 図面の大きさ及び紙質

ア 図面の大きさ

（ア）設計図は、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とし、工事調書（給水装置様式9）の流用も可とする。

紙質は、普通紙、製図用和紙、ジライト和紙又はケミカル和紙とする。

（イ）完成図は、給水装置工事施工票（給水装置様式1：給水装置工事施工承認申込書の裏面）を使用するほか、図面の仕上寸法でJIS P 0138（紙加工仕上寸法）のA3又はA4程度とする。

紙質は、給水装置工事施工票を除き、再生紙と同等以上（白色度70%以上、紙厚0.08～0.1mm程度）とし、はり合わせ及び縮小はできないものとする。

水道管管理図修正用については、PPC式複写（白焼き）とする。

（２） 提出部数

設計図及び完成図を次のとおり提出すること。

ア 設計図 原 図：１部

イ 完成図 原 図：１部

複写図（保管用）：１部 （水道管管理図修正用）：１部

ただし、局が設計図（工事調書）を作成する場合は、完成図の複写図（保管用）は提出不要とする。

なお、設計図及び完成図の複写図提出部数について、監督員より指示があった場合は、その部数を提出すること。

（３） 表示方法

給水装置工事施工票を完成図として使用する場合は、鉛筆書きとし、JIS S 6005（鉛筆、色鉛筆及びシャープペンに用いる芯）HB、F又はHを使用すること。

なお、線及び文字は、かすれ等に注意し、明確に書くこと。

（４） 図示範囲等

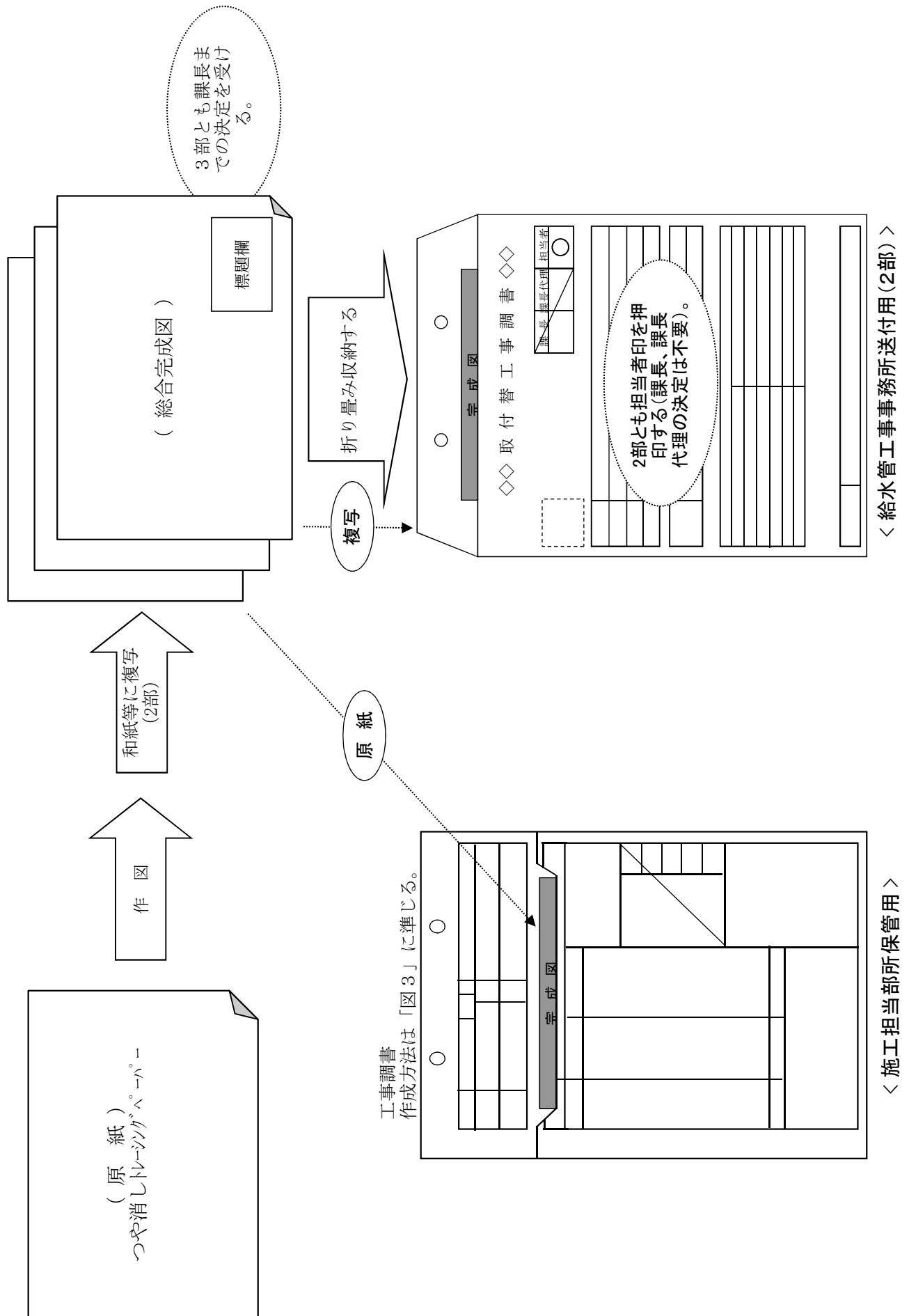
ア 局（受注者）が施行する箇所は実線とすること。

イ 既設管との接続まで施行した場合は、既設管を破線表示とし、ひっかけ線又は引出線により、口径・管種と、必要に応じて「指定事業者施行」の語句を記入すること。

ウ 設計図には道路掘削図（平面図及び断面図）及び道路復旧予定図（復旧構造図等）を記入すること。

なお、完成図については、不要とする。

工事調書作成例1：取付替工事調書（2本以上の場合）



＜工事調書＞

○

○

切り取る

折り畳みノリで張
付け袋状にする。

表

○

氏名住所

○

お客様

案内図

着手・完工月日

給水管整備工事

施工部所名

請負者名

3連判押印

施工担当部所用・給水管工事事務所用

(1) 監督員が作成する書類(建築・設備工事編) ◎決定後原簿綴 ○決定用を複写配布・とし □押印配布(受書兼用) ◇押印配布 ■配布(受書兼用) ◆配布

記載ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分
2-22	監督員通知書	◎	○	○	◇	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長
2-24	工種別構成率表通知書	◎	○	○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-25	[工種別構成率表]					
2-36	完成工事出来高通知書	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)

(2) 必要に応じ監督員が作成する書類(建築・設備工事編)

記載ページ	書 類 名	決定用	検査員	監督員	受注者	決定までの区分等
2-23	工事着手日指定書	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-26	施工変更決定書(第 回)	◎		○		担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-27	施工変更通知書(第 回)	◎		○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-28	[変更内容]					
2-29	変更工種別構成率表通知書	◎	○	○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-30	[変更工種別構成率表(第 回)]					
2-31	工事(全部中止・一部中止・中止継続)通知書(第 回)	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-33	工事(全部・一部)中止解除通知書(第 回)	◎	○	○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-34	既済部分工事出来高通知書(第 回)	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-37	指示事項通知書	◎		○	■	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長 ※原則として電子メールでのやり取りとする。
2-38	指示書	◎		○	■	
2-39	改善指示書	◎		○	■	
2-40	改善命令書 *総括監督員名で作成	◎		○	■	
2-41	打合せ議事録	◎	○	○		担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-42	部分使用協議書	◎		○	□	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-43	工事番号変更通知書(第 回)	◎		○	◆	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長
2-44	承諾書	◎		○	◇	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-45	回答書 *協議について承諾しない場合	◎		○	◇	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
2-46	認定調書	◎		○	◇	担当者→課代(工事)→課代(工務)→課長→部(所)長 (経歴)
1-48	貯蔵品請求票兼引渡票(請求)					*書類は、第1編 土木工事編参照
	貯蔵品請求票兼受領票(請求)					
	貯蔵品返還票兼受領票(返還)					
	貯蔵品返還票(返還)					

(3) 局が作成する書類(建築・設備工事編)

記載ページ	書 類 名	主 旨	作成	備考
2-47	工事請負契約変更協議書	工事請負契約書の規定により、契約変更の必要が発生したための協議を求める通知。	契約担当部所	承諾書
2-48	工事完成・既済部分検査調書(第 回)	完成、既済部分検査の合格に伴い発行される。	検査担当部所	
2-49	完成検査手直指示書	完成検査の不合格に伴い、契約不適合又は不完全な部分の手直しにより、契約内容を確保する。	検査担当部所	
2-50	東京都水道局企業用固定資産使用許可書	受注者からの水道局固定資産使用許可申請書に基づき、固定資産規程により許可される。	経理担当部所	

完成検査手直指示書

令和 年 月 日

殿

検 査 員

検 査 員

立 会 員

工 事 件 名

工 事 番 号

契 約 金 額 (注)

完成年月日

手直し期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで (日間)

手直し内容

上記について了承しました。

令和 年 月 日

会 社 名

受注者立会人

(注) 契約金額は、契約金額内訳明細書を提出した場合に記入すること。

統一 2

文 書 番 号
(工事番号)

第 1 1 1 5 5 0 0 号

現場代理人及び主任技術者等通知書

(発注者宛)

令和 元年 5 月 9 日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目 1 8 番 1 8 号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水 道 太 郎 (印)

〔 法人の場合は名称及び代表者の氏名 〕

連絡用メールアドレス

現場代理人及び主任技術者等を下記のとおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

文 書 番 号 (契 約 番 号)	3 1 水経契契第 1 1 号		
工 事 件 名	〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事		
工 事 場 所	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場		
契 約 金 額	¥ 1 9 3 , 4 9 4 , 0 0 0 . - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥14,332,888.-)		
契 約 年 月 日	令和 元年 5 月 8 日	工 期	令和 元年 1 0 月 1 6 日
技 術 者 分 類	技 術 者 氏 名	建設業法上の該当資格に ○を付ける。	備 考
現場代理人氏名 (連絡用メールアドレス)	ふりがな せつび いちろう 設備 一郎		現場代理人と主任技術者、 監理技術者又は監理技術者 補佐は兼任できる。
主任技術者氏名	ふりがな せつび じろう 設備 二郎	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	
監理技術者氏名	ふりがな せつび さぶろう 設備 三郎	建設業法第 1 5 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	※資格者証（監理技術者講習修了履歴）を監督員に提示すること。
監理技術者補佐氏名	ふりがな せつび たろう 設備 太郎	・建設業法第15条 第 2 号のイ・ロ・ハ ・一級第一次検定合格者	
専門技術者氏名 ()	ふりがな	建設業法第 7 条 第 2 号のイ・ロ・ハ	() 内には専門技術者を置いて施工する工事の建設業法上の区分を記入する。
電気保安技術者氏名	ふりがな		資格は別紙経歴書に記入する。
増員の技術者	ふりがな せつび しろう 設備 四郎		契約約款第54条関連
受注者（ＪＶの場合幹事会社）の許可区分等	土木一式・建築一式・電気・管・鋼構造物・舗装・機械器具設置・造園 ・水道施設・その他（ 大臣・知事 特定・一般 6 2 第 1 2 3 4 号		

監理業務受託者

担当者名

注 受注者（ＪＶの場合幹事会社）の許可区分等の欄は、監理技術者を設置した場合のみ記入すること。
(注) 変更の場合は、表題末尾に「(変更)」と記載し、変更者の備考欄に「(変更)」と記載すること。

文書番号
(工事番号)

第1115500号

請求・通知
報告・協議

書

(発注者宛)

令和 元年 7月29日

東京都水道局長

〇〇〇 〇〇〇 殿

住所 東京都千代田区丸の内三丁目18番18号
水道設備株式会社
受注者 氏名 代表取締役 水道 太郎

（法人の場合は名称
及び代表者の氏名）

印

下記工事について工事請負契約書の第20条1項により

請求・通知
報告・協議

します。

文書番号
(契約番号)

31水経契契第11号

工事件名

〇〇浄水場〇〇ポンプ設備等改良工事

工事場所

東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号 東京都水道局〇〇浄水場

契約金額

¥193,494,000.-
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥14,332,888.-)

契約年月日

令和 元年 5月 8日

工

期

令和 元年10月16日

請求・通知
報告・協議

内容

〇〇〇〇により、工期内に工事を完了することが不可能なため、△△△△日間の工期の延長を
請求します。

※ 契約書第20条1項による請求は、天災等の自己の責めに帰すことができない事由に限る。

監理業務受託者

担当者名

(注) この様式は、契約約款に基づく請求・通知・報告・協議に用いること。